



平成26年 5月14日

各位

会社名 株式会社構造計画研究所  
代表者名 代表取締役社長 服部 正太  
(JASDAQ・コード4748)  
問合せ先 取締役常務執行役員 湯口 達夫  
電話番号 03-5342-1141

## 平成26年6月期通期業績予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成26年6月期（平成25年7月1日～平成26年6月30日）通期の業績予想値を算出し、これを開示することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成26年6月期通期の業績予想（平成25年7月1日～平成26年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期（平成25年6月期） 実績（A）	百万円 8,776	百万円 549	百万円 485	百万円 278	円 銭 49.57
当期（平成26年6月期） 見込（B）	10,500	900	840	330	62.86
増減額（B-A）	1,723	350	354	51	—
増減率（%）	19.6	63.8	73.0	18.4	—

#### 2. 開示の理由

当社は、当社を取り巻く事業環境が短期的に大きく変動する傾向にあることから、業績予想の開示を行っておりませんでした。現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしましたので、公表することといたしました。

当第3四半期累計期間の売上高は、消費税増税による駆け込み需要の影響もあり82億98百万円（前年同四半期比140.6%）となりましたが、当第3四半期累計期間末日での受注残高は37億8百万円（前年同四半期比87.2%）の水準となりました。

また、現政権により実施された経済政策及び日銀により実施された金融政策などにより、わが国経済は回復基調にあるものの、消費税増税による景気の腰折れ懸念や、中国経済をはじめとする新興国経済の成長ペースの鈍化などもあり、楽観視できない状況にあります。

これらの状況を踏まえて、第4四半期会計期間の売上高につきましては、前年同四半期会計期間の売上高を下回るとの予測のもと、通期での売上高は105億円を見込んでおります。利益面につきましては、これまでの実績値及び第4四半期会計期間の売上原価、販売費及び一般管理費等の水準を勘案し、営業利益9億円、経常利益8億40百万円、当期純利益3億30百万円を見込んでおります。

以上